

(様式第9)

口大医綴第560号
平成

厚生労働大臣

殿

開設者名 田 口

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	30.8	人
--------	------	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

→ 別紙参照(様式第12)

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績

→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	244人	96人	320.8人	看護補助者	65人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	13人	20.4人	理学療法士	7人	麻酔臨床検査技師	53人
薬剤師	36人	1人	36.7人	作業療法士	2人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	検査その他	0人
助産師	25人	0人	25.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	620人	30人	643.2人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	1人	0.7人	栄養士	2人	その他の技術員	35人
歯科衛生士	1人	1人	1.7人	歯科技工士	1人	事務職員	220人
管理栄養士	10人	0人	10人	診療放射線技師	34人	その他の職員	41人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	629.0人	16.4人	645.4人
1日当たり平均外来患者数	1,199人	64.4人	1,263.4人
1日当たり平均調剤数		2,346 剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徵候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以後に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	0人
蛍光膀胱鏡を用いた5-アミノレブリン酸溶解液の経口投与又は経尿道投与による膀胱がんの光力学的診断 筋層非浸潤性膀胱がん	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチニン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	45人	・膿疱性乾癥	4人
・多発性硬化症	63人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	58人	・原発性胆汁性肝硬変	52人
・全身性エリテマトーデス	124人	・重症急性胰炎	12人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壞死症	55人
・再生不良性貧血	24人	・混合性結合組織病	19人
・サルコイドーシス	63人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・特発性間質性肺炎	2人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	108人	・網膜色素変性症	22人
・特発性血小板減少性紫斑病	41人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	22人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	126人	・神経線維腫症	13人
・大動脈炎症候群	17人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	12人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	33人	・ライソゾー・ム病	0人
・クローン病	70人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	15人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	165人	・球脊髄性筋委縮症	1人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	18人
・アミロイドーシス	4人	・肥大型心筋症	0人
・後縦靭帯骨化症	88人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・ミコンドリア病	4人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	44人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・ウェグナー肉芽腫症	6人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	36人	・黄色靭帯骨化症	19人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	10人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	47人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

⁵ 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	CPC 9回(9例), 胸部カンファレンス1回
部 檢 の 状 況	部検症例数 20例 / 部検率 9.52%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の開発	坂井田 功	第一内科	131,538,462	補文部科学省 委
肝硬変に対する細胞治療法の臨床的確立とそのメカニズムの解明	坂井田 功	第一内科	50,000,000	補厚生労働省 委科学研究費補助金
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(PhaseⅢ)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	坂井田 功	第一内科	500,000	補厚生労働省 委科学研究費補助金 (研究分担者)
門脈血行異常症に関する調査研究	坂井田 功	第一内科	400,000	補厚生労働省 委科学研究費補助金 (研究分担者)
骨髓由来肝臓修復細胞を用いた次世代型細胞遺伝子治療法の開発のための基盤研究	寺井 崇二	第一内科	4,100,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
体内時計による肝再生、脂肪化の制御に対する時間治療法の開発への基盤研究	寺井 崇二	第一内科	1,300,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
胃癌の発生におけるEBV感染とAID発現の関与について	西川 潤	第一内科	1,200,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
防風通聖散および大柴胡湯の肝発癌・肝線維化抑制効果の研究	内田 耕一	第一内科	1,000,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
細胞表面に局在する“細胞内タンパク質”的網羅の解析と組織障害・修復機能の解明	泉 友則	第一内科	1,600,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
細胞内ATPセンサーを用いた癌幹細胞の動態解析法の開発	藤澤 浩一	第一内科	1,700,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
骨髓由来レドックス制御細胞による新規肝発癌予防療法開発のための基盤研究	高見 太郎	第一内科	1,600,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
部分的脾動脈塞栓術と自己骨髓細胞投与療法を組み合わせた新規肝線維化改善療法の開発	石川 剛	第一内科	1,600,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
小型骨髓由来肝修復細胞の形態解析と特異因子の探求	山本 直樹	第一内科	1,300,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
心筋細胞内カルシウム制御による心不全・心肥大・致死的不整脈の包括的治療法の確立	矢野 雅文	第二内科	4,900,000	補日本学術振興会 委科学研究費助成事業
特発性心筋症に関する調査研究	矢野 雅文	第二内科	1,000,000	補厚生労働省 委科学研究費補助金 (研究分担者)
生活習慣病予防のための運動を阻害する要因とその対策に関する研究	三浦 俊郎	第二内科	500,000	補厚生労働省 委科学研究費補助金 (研究分担者)

小計16件

致死性不整脈発生基質としての介在板リモーディングの検討	大草 知子	第二内科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞内カルシウム放出制御による新しい悪性高熱症・不整脈の治療開発と臨床応用	小林 茂樹	第二内科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体分子内のK201結合コアをターゲットとした不整脈治療の実用化	山本 健	第二内科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
光干渉断層法の3次元再構成画像を用いた新たなステント留置後評価法の確立	岡村 誉之	第二内科	800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Wolfram症候群をモデルとした糖尿病におけるβ細胞不全のメカニズム解析	谷澤 幸生	第三内科	4,700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその有効性の検証—ガイドラインを実用化するためのシステム・体制整備の視点から	谷澤 幸生	第三内科	750,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
GSK-3 β の脛 β 細胞量調節機構の解明とその制御による2型糖尿病治療の研究	田部 勝也	第三内科	700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規蛋白メチル化酵素によるインスリン抵抗性発現機序の解明	江本 政広	第三内科	1,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト神経系不死化細胞株の網羅的樹立と三次元モデル構成の試み	神田 隆	神経内科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	神田 隆	神経内科	600,000	(補) 委	独立行政法人国立精神・神経医療センター
自己免疫疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	2,000,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究	神田 隆	神経内科	800,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
免疫性神経疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	1,150,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
スモンに関する調査研究	川井 元晴	神経内科	700,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
血液神経閥門を標的とした免疫性末梢神経疾患の病態解明と新規治療の開発	清水 文崇	神経内科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細菌感染後性末梢神経疾患における菌体シアル化の関与の証明	古賀 道明	神経内科	900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳閥門におけるA β 輸送システムの改変	佐野 泰照	神経内科	1,000,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
双極性障害における軸索構造ネットワークの分子生物学的病態解明	松尾 幸治	精神科神経科	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計18件

血液脳関門におけるAβ輸送システムの改変	大朏 孝治	精神科神経科	1,700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病患者とうつ病モデルマウス双方から同定されたNoxaのうつ行動に対する役割	山形 弘隆	精神科神経科	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
「うつ病の異種性に対応したストレス脆弱性バイオマーカーの同定と分子病態生理の解明」(うつ病異種性の診断・病態解明に向けたバイオマーカー分子の探索)	山形 弘隆	精神科神経科	7,315,385	(補) 委	文部科学省
重症のインフルエンザによる肺炎・脳症の病態解析・診断・治療に関する研究	市山 高志	小児科	1,500,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
プリオントウシス及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	市山 高志	小児科	2,100,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
自己骨髓由来幹細胞を用いた心血管再生における新たな治療戦略	濱野 公一	第一外科	4,800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
不全心における自己再生誘導因子の探索	濱野 公一	第一外科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄傷害に対する虚血プレコンディショニングの保護効果とその機序の解明	美甘 章仁	第一外科	4,700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱ショック転写因子は血管再生治療の新規標的分子になり得るか?	美甘 章仁	第一外科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代大動脈瘤診断治療法の開発:細胞外マトリクス分子による病態制御機構の解明	吉村 耕一	第一外科	5,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Shaggy aorta症候群への挑戦:病態解明と治療法開発への応用	吉村 耕一	第一外科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト末梢血単核球に対する低酸素プレコンディショニングの有用性と安全性の検証	村上 雅憲	第一外科	1,800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌悪性化進展におけるJab1の役割解明	西本 新	第一外科	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
外科侵襲後の癌進展における血管内皮前駆細胞の役割	榎 忠彦	第一外科	800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌進展における肺気腫の関与とその機序の解明	林 雅太郎	第一外科	800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺切除後の残存肺再生および創傷治癒における骨髓由来幹細胞の役割の解明	上田 和弘	第一外科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心房細動患者の心房線維化に関する血中バイオマーカーの同定と臨床応用	末廣 晃太郎	第一外科	1,100,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メカニカルストレスの変化に着目した新たな心筋再生療法	白澤 文吾	第一外科	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計18件

大動脈解離の分子病態機序の解明と新規治療法の開発	鈴木 亮	第一外科	500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膀胱に対する癌幹細胞を標的とした免疫療法の開発	岡 正朗	第二外科	4,800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌における転移・再発に関する癌幹細胞の同定及び解析	岡 正朗	第二外科	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行・再発膀胱癌に対する新規エピトープペプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第Ⅰ/Ⅱ相試験	岡 正朗	第二外科	118,182,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金
エピジェネティック異常による早期癌検出に有用な自動DNAメチル化解析装置の開発	岡 正朗	第二外科	1,000,000	(補) 委	独立行政法人科学技術振興機構
効果的な複合免疫療法の確立(オンコアンチゲン由来ペプチドワクチンにおけるバイオマーの検証と治療戦略の構築)	裕 彰一	第二外科	17,000,000	(補) 委	文部科学省
再発乳癌治療における免疫ネガティブシグナル抑制に着目した新世代免疫療法の開発	山本 滋	第二外科	1,700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子多型に基づいた術後合併症予測システムの開発	坂本 和彦	第二外科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
化学療法における消化管毒性とDiamine Oxidase(DAO)活性	武田 茂	第二外科	1,000,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生医療を駆使した新しい小腸伸張術	上野 富雄	第二外科	300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌再発関連遺伝子のDNA異常に基づく血液からの再発予測システムの開発	恒富 亮一	第二外科	800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HMGB1による癌化学療法の免疫学的效果予測	鈴木 伸明	第二外科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌患者自己抗体を用いた術後補助化学療法選択システムの開発	爲佐 路子	第二外科	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊柱韌帯骨化症に関する調査研究	田口 敏彦	整形外科	500,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
ラット脊髄損傷後の機能的神経筋電気刺激治療モデルの確立	寒竹 司	整形外科	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
コラーゲンフィラメント補填を用いた脊髄機能再建	鈴木 秀典	整形外科	500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乾癬発症候群遺伝子群の高次構造の解明	武藤 正彦	皮膚科	700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	武藤 正彦	皮膚科	2,100,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)

小計18件

メラノーマにおける熱ショック転写因子の抗腫瘍効果解析と治療的応用の検討	中村 好貴	皮膚科	1,900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	松山 豪泰	泌尿器科	400,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	松山 豪泰	泌尿器科	130,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
蛋白発現解析を含めた日本人筋層非浸潤性膀胱癌予後予測モデルの開発	坂野 滋	泌尿器科	1,700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
男性不妊症に対する内分泌療法開発についての基礎研究	白石 晃司	泌尿器科	1,900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中心体複製異常を指標とした新しい膀胱癌治療の試み	松山 豪泰	泌尿器科	800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜下瘢痕病巣形成メカニズム解明とその治療への応用	園田 康平	眼科	3,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性網膜死の診断基準に関する調査研究	園田 康平	眼科	1,000,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
感染性角膜潰瘍発症の分子機序に基づいた新たな治療薬の開発	木村 和博	眼科	1,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜実質瘢痕の三次元解析と瘢痕形成の病態解明	森重 直行	眼科	1,700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜接着能評価による再発性角膜上皮びらん治療薬の検索	山田 直之	眼科	1,800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
老人性難聴とメタボリック症候群の関連についての基礎的研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
前庭機能異常にに関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,050,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
加齢内耳における老化遺伝子の変化と熱ショック応答について	菅原 一真	耳鼻咽喉科	800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
前庭神経系の可塑性における抗うつ薬の役割に関する研究	下郡 博明	耳鼻咽喉科	900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
いびきの音響解析と睡眠時CTによる睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	250,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
2管球コンピュータ断層撮影装置を用いた冠動脈造影の臨床的有用性の検討	松永 尚文	放射線科	2,000,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
亜硝酸剤非使用・使用冠動脈CTAを用いた冠動脈攣縮評価	岡田 宗正	放射線科	2,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計18件

骨盤部SWI:腸管ガスによる磁化率アーチ ファクトの基礎的検討	徳田 修	放射線科	2,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血流イメージを用いた喀血の病態解析	松隈 美和	放射線科	600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超早産児における皮膚成熟促進治療薬の開発を目指した基礎的研究	杉野 法広	産科婦人科	500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮筋腫におけるX染色体のエピジェネティクス変異機構の解析	佐藤 俊	産科婦人科	1,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮筋腫発生に関与する遺伝子の探索—エピゲノム異常の視点から—	浅田 裕美	産科婦人科	2,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルボニールレダクターゼの機能解析—新たな機序による分子標的治療の開発に向けて—	村上 明弘	産科婦人科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮頸癌の新たなバイオマーカーの検索—測定系の確立と分子標的治療への応用—	末岡 幸太郎	産科婦人科	1,700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮筋腫の増殖とエストログンレセプター α 標的遺伝子のDNAメチル化異常	前川 亮	産科婦人科	600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非対称ジメチルアルギニンが脳血管反応性へ及ぼす影響と術後早期高次脳機能障害	石田 和慶	麻酔科	900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工呼吸中に上肢下肢筋力を増強することにより人工呼吸離脱を促進できるかを検討する	松田 憲昌	麻酔科	2,700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四肢虚血リモートプレーンデイショーニングによる脳虚血耐性機序の解明	山下 理	麻酔科	2,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性てんかんの局所脳温制御による治療とその応用	鈴木 倫保	脳神経外科	2,100,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳局所冷却による難治性てんかん治療用医療機器の開発	鈴木 倫保	脳神経外科	3,700,800	(補) 委	独立行政法人科学技術振興機構
脳冷却機能を持つ術中モニタリング用硬膜下留置式多機能センサの開発	野村 貞宏	脳神経外科	577,000	(補) 委	独立行政法人科学技術振興機構
移植神経細胞を介した神経回路網の再構築を基盤とした新規細胞治療モデルの開発	出口 誠	脳神経外科	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	出口 誠	脳神経外科	1,000,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
脳血管攣縮のメカニズム ABCA1を介するコレステロール代謝による制御	小泉 博靖	脳神経外科	1,800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
調節的局所脳冷却を用いた運動機能の抑制性制御に関する研究	井本 浩哉	脳神経外科	1,900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計18件

靈長類を用いた完全自律型のてんかん発作検知と局所脳冷却による発作抑制技術の実現	森廣 雄介	脳神経外科	1,900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳性麻痺に対する神経回路再構築による抜本的再生治療	篠山 瑞也	脳神経外科	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳血管障害に対する脳局所冷却を用いた急性期リハビリテーション法の開発	井上 貴雄	脳神経外科	1,100,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
障害者歯科におけるEBM確立を目的としたクリニックルパス開発および利用に関する研究	上山 吉哉	歯科口腔外科	400,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
レーザースペックルを応用した口蓋瘢痕の定量評価法の開発と口蓋裂臨床への応用	三島 克章	歯科口腔外科	1,900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行・再発・切除不能口腔癌に対する新規機能温存療法の開発	原田 耕志	歯科口腔外科	2,100,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
いびきの音響解析を用いた睡眠中の気道狭窄部位の診断法の開発	菅 北斗	歯科口腔外科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱ショック転写因子制御による口腔扁平上皮癌に対する分子標的療法の開発	堀永 大樹	歯科口腔外科	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大脳局所冷却装置を用いた術中脳機能マッピング法の確立	藤井 正美	手術部	700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
真の難治性てんかんに対する非切除的治療法の開発研究	藤井 正美	手術部	300,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
局所脳冷却を用いた術中脳機能マッピング装置の開発	藤井 正美	手術部	540,000	(補) 委	独立行政法人科学技術振興機構
HSP70mRNA導入樹状細胞を用いた肝細胞癌術後補助療法の開発	爲佐 卓夫	手術部	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄虚血神経保護における抗炎症薬の臨床応用に関する研究	山下 敦生	手術部	1,100,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
輸血用血液製剤及び血漿分画製剤投与時の効果的なインフォームド・コンセントの実施に関する研究	藤井 康彦	輸血部	300,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
重症患者の正しいせん妄評価の普及のための疫学調査とせん妄発症メカニズムの病態解明	鶴田 良介	先進救急医療センター	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
効果的な熱中症予防のための医学的情報等の収集・評価体制構築に関する研究	鶴田 良介	先進救急医療センター	880,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
重症脳障害に対する脳低温療法と脳保護薬の併用による新たな治療戦略	小田 泰崇	先進救急医療センター	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
SuperoxideとHMGB1を主眼とした頭部外傷の病態解明と治療法の確立	藤田 基	先進救急医療センター	2,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計18件

血管内経時的測定法を用いたスーパー・オキシド・アノンラジカルの発生源と産生量の検討	戸谷 昌樹	先進救急 医療センター	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肥大型心筋症の致死的不整脈に対する細胞内Ca2+制御による新しい治療法の開発	奥田 真一	先進救急 医療センター	1,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
データマイニング等の手法を用いた急性心筋梗塞患者のリスク評価と予後予測	松井 邦彦	総合診療部	900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症の病態に関するゲノムデオキシリボ核酸メチル化プロファイルの網羅的解析	山縣 芳明	総合周産期 母子医療セ ンター	700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜間質細胞脱落膜化に伴う遺伝子発現におけるエピジェネティクス調節機構の関与	田村 功	総合周産期 母子医療セ ンター	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ラット黄体化顆粒膜細胞におけるステロイド合成関連遺伝子のエピジェネティクス制御	李 理華	総合周産期 母子医療セ ンター	2,000,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行肝細胞癌に対する鉄キレート剤と分子標的治療薬併用による新規治療法の開発	山崎 隆弘	光学診療部	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CTエンテロクリーチスを用いた小腸炎症疾患の新たな画像分類の構築	清水 建策	光学診療部	400,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌抗体療法におけるADCC活性増強の試み—Fc受容体遺伝子多型の検討も含めて—	吉野 茂文	腫瘍センター	1,100,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピジェネティクスに基づく肝癌予後予測のためのハイブリッド型血液テスト	飯塚 徳男	漢方診療部	2,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行肝細胞癌に対する新規肝動脈化学療法の開発と分子標的治療併用の意義	日高 黙	肝疾患セン ター	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
切除可能悪性胸膜中皮腫に対する集学的治療法の確立に関する研究	澁谷 景子	放射線治療 部	700,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
先天免疫に関連した酸化ストレス消去酵素による新たな臓器障害抑制機序解明	梅本 誠治	臨床試験 支援センター	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

合計137件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of International Medical Research 2012; 40: 2381-93	The pharmacokinetics and pharmacodynamics of Tolvaptan in insufficient response to conventional diuretics: a multicenter, double-blind parallel-group, phase III study.	Sakaida I, Yanase M, Yasutake T, Okada M, Okita K & Ascites Clinical Pharmacology Group	第一内科
Hepatol Res. 2012;42(4):340-8. Review	Hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma and future treatments for the poor responders.	Yamasaki T, Sakaida I.	第一内科
J Gastroenterol. 2012;47(6):715-22.	Effect of transcatheter arterial infusion chemotherapy using iodized oil and degradable starch microspheres for hepatocellular carcinoma.	Yamasaki T, Saeki I, Harima Y, Zaitsu J, Maeda M, Tanimoto H, Iwamoto T, Hidaka I, Urata Y, Ishikawa T, Takami T, Yamaguchi Y, Uchida K, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Journal of Gastroenterology 2012; 47: 491-7	Timeline for development of autologous bone marrow infusion(AMBI) therapy and respective for future stem cell therapy	Terai S, Tanimoto H, Maeda M, Zaitsu J, Hisanaga T, Iwamoto T, Fujisawa K, Mizunaga Y, Matsunoto T, Urata Y, Marumoto Y, Hidaka I, Ishikawa T, Yokoyama Y, Aoyama K, Tsuchiya M, Takkami T, Omori K, Yamamoto N, Segawa M, Uchida K, Yamasaki T, Okita K, Sakaida I	第一内科
Seikagaku. 2012;84(8):707-11.	Autologous bone marrow cell infusion therapy to repair and regenerate liver.	Terai S, Sakaida I.	第一内科
Curr Opin Gastroenterol. 2012;28(3):203-8.	Stem cell therapy in chronic liver disease.	Takami T, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Discov Med. 2012;14(74):7-12.	Advanced therapies using autologous bone marrow cells for chronic liver disease.	Takami T, Terai S, Sakaida I.	第一内科
J Gastroenterol. 2012;47(3):300-12.	Splenectomy enhances the anti-fibrotic effect of bone marrow cell infusion and improves liver function in cirrhotic mice and patients.	Iwamoto T, Terai S, Mizunaga Y, Yamamoto N, Omori K, Uchida K, Yamasaki T, Fujii Y, Nishina H, Sakaida I.	第一内科
Cell Tissue Res. 2012. [Epub ahead of print]	Bone-marrow-derived cells cultured in serum-free medium reduce liver fibrosis and improve liver function in carbon-tetrachloride-treated cirrhotic mice.	Iwamoto T, Terai S, Hisanaga T, Takami T, Yamamoto N, Watanabe S, Sakaida I.	第一内科
J Gastroenterol. 2012. [Epub ahead of print]	Bortezomib induces tumor-specific cell death and growth inhibition in hepatocellular carcinoma and improves liver fibrosis.	Saeki I, Terai S, Fujisawa K, Takami T, Yamamoto N, Matsunoto T, Hirose Y, Murata Y, Yamasaki T, Sakaida I.	第一内科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastroenterol Res Pract. 2012;2012:389269. doi: 10.1155/2012/389269. Epub 2012 Sep 30.	Utility of the Anterior Oblique-Viewing Endoscope and the Double-Balloon Enteroscope for Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography in Patients with Billroth II Gastrectomy.	Sen-Yo M, Kaino S, Suenaga S, Uekitani T, Yoshida K, Harano M, Sakaida I.	第一内科
Hepatogastroenterology. 2012 Sep 14;60(121). [Epub ahead of print]	Outcomes of Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer and Factors Associated with Incomplete Resection.	Goto A, Nishikawa J, Okamoto T, Hamabe K, Nishimura J, Nakamura M, Kiyotoki S, Saito M, Miura O, Sakaida I.	第一内科
Hepatogastroenterology. 2012;60(124). [Epub ahead of print]	Correlations between Obesity/Metabolic Syndrome-Related Factors and Risk of Developing Colorectal Tumors.	Harima S, Hashimoto S, Shibata H, Matsunaga T, Tanabe R, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Nihon Shokakibyo Gakkai Zasshi. 2012;109(11):1940-5.	A case of enteric muco-submucosal elongated polyp.	Nishimura J, Nishikawa J, Tanabe R, Hashimoto S, Matsunaga T, Nakamura M, Goto A, Hamabe K, Okamoto T, Sakaida I.	第一内科
World J Gastrointest Endosc. 2012;4(8):373-5.	A case of EMRC for basaloid squamous carcinoma of the cervical esophagus.	Nakamura M, Nishikawa J, Suenaga S, Okamoto T, Okamoto F, Miura O, Sakaida I.	第一内科
Scand J Gastroenterol. 2012;8-9(47):1108-14.	Risk factors for delayed bleeding from endoscopic submucosal dissection of gastric neoplasms.	Nakamura M, Nishikawa J, Hamabe K, Nishimura J, Satake M, Goto A, Kiyotoki S, Saito M, Fukagawa Y, Shirai Y, Okamoto T, Sakaida I.	第一内科
Endoscopy. 2013;45 Suppl 2 UCTN:E1-2. doi: 10.1055/s-0032-1326217. Epub 2013 Feb 4.	Preliminary clinical experience with high-definition colonoscope illuminated by light-emitting diode.	Yanai H, Nishikawa J, Okamoto T, Kikuchi K, Sakaida I.	第一内科
Hepatol Res. 2012 Dec;42(12):1196-201. doi: 10.1111/j.1872-034X.2012.01035.x. Epub 2012 May 14.	Evaluation of a novel non-invasive (13) C-glucose breath test for the identification of diabetes mellitus in cirrhotic patients.	Tsuchiya M, Yamasaki T, Sakaida I.	第一内科
Cell Transplant. 2012. [Epub ahead of print]	Granulocyte colony-stimulating factor and interleukin-1 β are important cytokine in repair of the cirrhotic liver after bone marrow cell infusion -comparison of humans and model mice-	Mizunaga Y, Terai S, Yamamoto N, Uchida K, Yamasaki T, Nishina H, Fujita Y, Shinoda K, Hamamoto Y, Sakaida I.	第一内科
Hepatogastroenterology. 2012 Mar-Apr;59(114):533-7. doi: 10.5754/hge10013.	Hepatic arterial infusion chemotherapy in combination with pegylated interferon- α -2b for advanced hepatocellular carcinoma.	Okita K, Yamasaki T, Hamabe S, Saeki I, Harima Y, Terai S, Sakaida I.	第一内科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatol Res. 2013 Mar 27. doi: 10.1111/hepr.12099. [Epub ahead of print]	Dose-finding trial of tolvaptan in liver cirrhosis patients with hepatic edema: A randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Okita K, Kawazoe S, Hasebe C, Kajimura K, Kaneko A, Okada M, Sakaida I; ASCITES Dose-Finding Trial Group.	第一内科
Hepatogastroenterology. 2012;59(118):1794-9.	Preoperative evaluation of early colorectal cancer using an ultrasound mini probe.	Tanabe R, Higaki S, Gondo T, Sakaida I.	第一内科
J Med Virol. 2013;85(1):121-7.	Role of DNA methylation in the development of Epstein-Barr virus-associated gastric carcinoma.	Saito M, Nishikawa J, Okada T, Morishige A, Sakai K, Nakamura M, Kiyotaki S, Hamabe K, Okamoto T, Oga A, Sasaki K, Suehiro Y, Hinoda Y, Sakaida I	第一内科
J Biomed Opt. 2013 Feb;18(2):26010. doi: 10.1117/1.JBO.18.2.026010	New method for detection of gastric cancer by hyperspectral imaging: a pilot study.	Kiyotaki S, Nishikawa J, Okamoto T, Hamabe K, Saito M, Goto A, Fujita Y, Hamamoto Y, Takeuchi Y, Satori S, Sakaida I.	第一内科
Biochem Biophys Res Commun. 2012;422(1):22-7.	Ezetimibe reduces fatty acid quantity in liver and decreased inflammatory cell infiltration and improved NASH in medaka model.	Oishi T, Terai S, Kuwashiro S, Fujisawa K, Matsumoto T, Nishina H, Sakaida I.	第一内科
J Gastroenterol Hepatol. 2012;27(2):104-11.	Autologous bone marrow cell infusions suppress tumor initiation in hepatocarcinogenic mice with liver cirrhosis.	Maeda M, Takami T, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Dig Endosc. 2013 Mar;25(2):156-9.	Effect of capsule placement with transnasal endoscopy.	Matsunaga T, Hashimoto S, Okamoto T, Harima S, Tanabe R, Nishikawa J, Sakaida I.	第一内科
PLoS One. 2012;7(6):e39175. doi: 10.1371/journal.pone.0039175.	Genome-wide association study confirming association of HLA-DP with protection against chronic hepatitis B and viral clearance in Japanese and Korean.	Nishida N, Sawai H, Matsuura K, Sugiyama M, Ahn SH, Park JY, Hige S, Kang JH, Suzuki K, Kuroski M, Asahina Y, Mochida S, Watanabe M, Tanaka E, Honda M, Kaneko S, Orito E, Itoh Y, Mita E, Tamori A, Murawaki Y, Hiasa Y, Sakaida I, Korenaga M, Hino K, Ide T, Kawashima M, Mawatari Y, Sageshima M, Ogasawara Y, Koike A, Izumi N, Han KH, Tanaka Y, Tokunaga K, Mizokami M.	第一内科
Hepatol Res. 2012;42(7):621-626.	Guidelines on nutritional management in Japanese patients with liver cirrhosis from the perspective of preventing hepatocellular carcinoma.	Suzuki K, Endo R, Kohgo Y, Ohtake T, Ueno Y, Kato A, Suzuki K, Shiraki R, Moriwaki H, Habu D, Saito M, Nishiguchi S, Katayama K, Sakaida I; for the Japanese Nutritional Study Group for Liver Cirrhosis 2008.	第一内科
Anticancer Res. 2012;32(6):2295-9.	Heat-shock protein 27 plays the key role in gemcitabine-resistance of pancreatic cancer cells.	Kuramitsu Y, Wang Y, Taba K, Suenaga S, Ryozawa S, Kaino S, Sakaida I, Nakamura K.	第一内科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatol Res. 2012;42(6):523-542.	Guideline on the use of new anticancer drugs for the treatment of Hepatocellular Carcinoma 2010 update.	Kaneko S, Furuse J, Kudo M, Ikeda K, Honda M, Nakamoto Y, Onchi M, Shioya G, Yokosuka O, Sakaida I, Takehara T, Ueno Y, Hiroishi K, Nishiguchi S, Moriwaki H, Yamamoto K, Sata M, Obi S, Miyayama S, Imai Y.	第一内科
J Vet Med Sci. 2012;74(5):607-11.	Therapeutic potential of canine bone marrow stromal cells (BMSCs) in the carbon tetrachloride (CCl4) induced chronic liver dysfunction mouse model.	Haraguchi T, Tani K, Takagishi R, Oda Y, Itamoto K, Yamamoto N, Terai S, Sakaida I, Nakazawa H, Taura Y.	第一内科
J Vet Med Sci. 2012 ;74(5):633-6.	Matrix metalloproteinases (MMPs) activity in cultured canine bone marrow stromal cells (BMSCs).	Haraguchi T, Tani K, Koga M, Oda Y, Itamoto K, Yamamoto N, Terai S, Sakaida I, Nakazawa H, Taura Y.	第一内科
Invest New Drugs. 2012;30(5):2015-25.	A randomized phase II trial of intra-arterial chemotherapy using SM-11355 (Miriplatin) for hepatocellular carcinoma.	Okusaka T, Kasugai H, Ishii H, Kudo M, Sata M, Tanaka K, Shioyama Y, Chayama K, Kumada H, Yoshikawa M, Seki T, Saito H, Hayashi N, Shiratori K, Okita K, Sakaida I, Honda M, Kusumoto Y, Tsutsumi T, Sakata K.	第一内科
Hepatol Res. 2012;42: 1058-64	Complications of radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma in a multicenter study: An analysis of 16 346 treated nodules in 13 283 patients.	Koda M, Murawaki Y, Hirook Y, Mikiya Kitamoto M, Ono M, Sakaeda H, Joko K, Sato S, Tamaki K, Yamasaki T, Shibata H, Shimoo T, Matsuda T, Toshikuni N, Fujioka S, Ohmoto K, Nakamura S, Kariyama K, Aikata H, Kobayashi Y, Tsutsui A.	第一内科
Hepatol Res. 2012. [Epub ahead of print]	Nutritional management contributes to improvement in minimal hepatic encephalopathy and quality of life in patients with liver cirrhosis: A preliminary, prospective, open-label study.	Kato A, Tanaka H, Kawaguchi T, Kanazawa H, Iwasa M, Sakaida I, Moriwaki H, Murawaki Y, Suzuki K, Okita K.	第一内科
Biochem Biophys Res Commun. 2013 Feb 22;431(4):712-7. doi: 10.1016/j.bbrc.2013.01.053 . Epub 2013 Jan 23.	Medaka fish, Oryzias latipes, as a model for human obesity-related glomerulopathy.	Ichimura K, Kawashima Y, Nakamura T, Powell R, Hidoh Y, Terai S, Sakaida I, Kodera Y, Tsuji T, Ma JX, Sakai T, Matsumoto H, Obara T.	第一内科
医学のあゆみ 2012; 241(10):789-91	肝細胞癌に対する鉄キレート剤治療 i-MM therapy	山崎隆弘、坂井田功	第一内科
BIO Clinica(0919-8237)27巻9号 Page835-838(2012.08)	【体性幹細胞】体性幹細胞を用いた肝硬変症治療	寺井 崇二、坂井田 功	第一内科
消化器内科(1884-2895)54巻6号 Page690-693(2012.06)	【肥満と消化器疾患】血中オンコスタチンMの測定 非アルコール性脂肪性肝疾患との関連について	寺井 崇二、大野 高嗣、在津 潤一、大石 俊之、桑代 紳哉、松本 俊彦、橋本 真一、岡本 健志、戒能 聖治、内田 耕一、坂井田 功	第一内科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
細胞(1346-7557)44巻13号 Page581-584(2012.11)	【肝細胞癌と肝硬変】肝硬変症に対する骨髓由来細胞を用いた治療法の理論的基盤	寺井 崇二、坂井田 功	第一内科
生化学(0037-1017)84巻8号 Page707-711(2012.08)	【肝臓の発生・再生】自己骨髓細胞投与による肝再生、修復治療	寺井 崇二、坂井田 功	第一内科
医学のあゆみ244; 6: 555-7	【肝線維化研究Update-基礎から臨床へ】肝硬変症に対する骨髓由来細胞を用いた治療法の効率化	寺井 崇二、坂井田 功	第一内科
消化器内視鏡(図説)24(11): 1810-1(2012.11)	【これは役立つ十二指腸病変アトラス】多彩な内視鏡像を呈する病変 アミロイドーシス(AA型、AL型)	西川 潤、岡本 健志、坂井田 功	第一内科
Annual Review消化器 2013 2013:196-202	肝臓の再生療法	高見太郎、寺井崇二、坂井田 功	第一内科
肝疾患レビュー2012-2013 2012:69-75	肝再生医学のトランスレーショナル・リサーチ	高見太郎、寺井崇二、坂井田 功	第一内科
medicina 2012;49(7): 1238-9	肝硬変診療のトピックス「自己骨髓細胞を用いた肝修復再生療法の現状」	高見太郎、寺井崇二、坂井田 功	第一内科
医学のあゆみ 2012; 804-8	肝硬変Update「自己骨髓細胞投与による肝修復再生療法」	高見太郎、坂井田 功	第一内科
GUT日本語版 2012;4 (3):20-1	骨髓移植はTh1応答およびマトリックスメタロプロテアーゼ活性を介して Abcb4-/-マウスの肝線維化を改善する	高見 太郎	第一内科
消化器内科 2012;54 540-4	【小腸潰瘍性病変の的確な診断と概念の確立】CT enteroclysisの小腸潰瘍性病変に対する診断能の評価	橋本 真一	第一内科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床消化器内科 2012; 27:131-3	CT enteroclysis	橋本真一、坂井田 功	第一内科
BIO Clinica(0919-8237)27巻4号 Page343-347(2012.04)	【酸化ストレスと消化器疾患】C型肝炎と酸化ストレス	日高 熱、坂井田 功	第一内科
日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)20巻1号 Page3-4(2013.01)	急性鉄中毒に対する集中治療	佐伯一成、山崎 隆弘、坂井田 功	第一内科
山口医学 2012;61(4): 147-50	バリウム糞石に対してスネアを用いた内視鏡的糞石破碎術が有効であった1例	播磨郷子、橋本真一、柴田大明、松永尚治、田邊亮、岡本健志、西川潤、坂井田 功	第一内科
日本消化器病学会雑誌 2012;109:May-40	小腸のmuco-submucosal elongated polypの1例	西村純一、西川潤、田邊亮、橋本真一、松永尚治、中村宗剛、五嶋敦史、浜辺功一、岡本健志、坂井田 功	第一内科
山口医学 62巻1号 Page39-42(2013.02)	下血を契機に発見された潰瘍を伴う多発小腸憩室症の1例	横田恭之、橋本真一、柴田大明、播磨郷子、坂井田 功	第一内科
山口医学 62巻1号 Page49-53(2013.02)	肝膿瘍の発症により診断し得た胃癌の1例	花園忠相、野口哲夫、森健治、坂井田 功	第一内科
山口医学 62巻1号 Page43-48(2013.02)	5年の経過で増大し出血を來したBrunner腺過形成の一切除例	白築祥吾、岡本健志、浜辺功一、仙譽学、西川潤、橋本憲輝、吉野茂文、坂井田 功	第一内科
山口医学 62巻1号 Page33-37(2013.02)	Crohn病の経過中に非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)から非代償性肝硬変へと進展した一例	田邊規和、播磨夕美子、橋本真一、寺井崇二、山崎隆弘、坂井田 功	第一内科
山口医学 62巻1号 Page27-31(2013.02)	縦走する隆起を呈したBarrett食道腺癌の1例	松永一仁、西川潤、中村宗剛、西村純一、五嶋敦史、岡本健志、武田茂、中村陽平、星井嘉信、坂井田 功	第一内科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化管の臨床 2012; 18: 21-23	ハイパースペクトルイメージングを用いた胃癌診断	清時秀、西川潤、五嶋敦史、浜辺功一、岡本健志、浜本義彦、坂井田功	第一内科
第19回浜名湖シンポジウム 2012:165-72	マウス肝硬変高発癌モデルにおける自己骨髄細胞投与の影響 分子生物学が可能とした個別化医療	前田雅喜、高見太郎、藤澤浩一、山本直樹、寺井崇二、坂井田功	第一内科
G.I. Research 2012; 20(4):368-9	肝硬変発癌モデルにおける自己骨髄細胞投与の影響	前田雅喜、高見太郎、山本直樹、寺井崇二、坂井田功	第一内科
【炎症性内科疾患と皮膚】<臨床例>紅斑を伴ったCrohn病	【炎症性内科疾患と皮膚】<臨床例>紅斑を伴ったCrohn病	竹本朱美、橋本真一、武藤正彦	第一内科
臨床放射線 2012;57: 1017-25	【消化管画像診断-最近のトピックス-】小腸の画像診断 CT enteroclysis (解説/特集)	清水建策、橋本真一、小野田秀子、鷲田康雄、坂井田功、松永尚文	第一内科
肝臓 2012;53:463-85	特集 座談会 がん治療の様々なる意匠	田中克明、池田健次、山崎隆弘、永松洋明、上嶋一臣	第一内科
PLoS ONE	Heart failure-inducible gene therapy targeting protein phosphatase 1 prevents progressive left ventricular remodeling	Yousuke Miyazaki	第二内科
Circ J	Low-Dose β -Blocker in Combination With Milrinone Safely Improves Cardiac Function and Eliminates Pulsus Alternans in Patients With Acute Decompensated Heart Failure	Shigeki Kobayashi	第二内科
J Cardiol	Effects of isoproterenol and propranolol on the inducibility and frequency of ventricular fibrillation in patients with Brugada syndrome	Toshihide Ohmiya	第二内科
Heart Rhythm	Correlation between substrate location and ablation strategy in patients with ventricular tachycardia late after myocardial infarction	Yasuhiro Yoshiga	第二内科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cytokine	Association between cytokine removal by polymyxin B hemoperfusion and improved pulmonary oxygenation in patients with acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis	Keiji Oishi	第二内科
Cardiovasc Res	Enhanced binding of calmodulin to the ryanodine receptor corrects contractile dysfunction in failing hearts	Akihiro Hino	第二内科
Circ J	What Are the Most Useful Predictors of Cardiac Mortality in Patients Post Myocardial Infarction?	Akihiko Shimizu	第二内科
Bone Marrow Transplant	Alteration of Dickkopf-1 and receptor activator of nuclear factor- κ B ligand during PBSC mobilization in healthy donors by G-CSF.	Tanaka M	第三内科
Int J Hematol	JAK2 46/1 haplotype is associated with JAK2 V617F-positive myeloproliferative neoplasms in Japanese patients.	Tanaka M	第三内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Biology of the blood–nerve barrier and its alteration in immune–mediated neuropathies.	Kanda T	神経内科
J Neural Neurosurg Psychiatry	Nationwide survey of patients in Japan with Bickerstaff brainstem encephalitis: epidemiological and clinical characteristics.	Koga M	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Another CNS phenotype of anti-GQ1b antibody syndrome.	Koga M	神経内科
Clin Neurophysiol	The demyelination neurophysiological criteria can be misleading in <i>Campylobacter jejuni</i> -related Guillain–Barré syndrome.	Koga M	神経内科
Clin Exp Neuroimmunol	Stable human brain microvascular endothelial cell line retaining its barrier-specific nature independent of the passage number.	Sano Y	神経内科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurology	Autosomal dominant tauopathy with parkinsonism and central hypoventilation.	Omoto M	神経内科
Neurobiol aging	Advanced glycation end-products disrupt the blood-brain barrier by stimulating the release of TGF- β by pericytes and VEGF and MMP-2 by endothelial cells in vitro.	Shimizu F	神経内科
Cell Struct Funct	Establishment and Characterization of Human Peripheral Nerve Microvascular Endothelial Cell Lines: A New in vitro Blood-Nerve Barrier (BNB) Model.	Abe M	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Blood-brain barrier destruction determines Fisher/Bickerstaff clinical phenotypes: An in vitro study.	Saito K	神経内科
Muscle Nerve	Neuropathy in chronic graft-versus-host disease caused by Donor T cells.	Haruki H	神経内科
Immunolog Rev	Inflammatory cell trafficking across the blood-brain barrier: chemokine regulation and in vitro models.	Takeshita Y	神経内科
臨床神経	外転眼に注視方向性の粗大な水平性眼振を伴い、中枢神経障害の関与が示唆された急性外眼筋麻痺。	古賀道明	神経内科
臨床神経	二相性の運動麻痺をきたしたワクチン関連性ポリオ(Vaccine-associated paralytic poliomyelitis, VAPP)の38歳女性例。	大石真莉子	神経内科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry	The alteration of hypoxia inducible factor-1 (HIF-1) and its target genes in mood disorder patients.	T Shibata	精神科神経科
Brain Research	Neural correlates of plasma ghrelin level in individuals with major depressive disorder.	K Matsuo	精神科神経科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Molecular Psychiatry	New structural brain imaging endophenotype in bipolar disorder.	K Matsuo	精神科神経科
J. Neurol. Sci.	Serum neurofilament concentrations in children with prolonged febrile seizures.	Matsushige T	小児科
J. Steroid Biochem.	$1\alpha,25$ -Dihydroxyvitamin D(3) inhibits vascular cellular adhesion molecule-1 expression and interleukin-8 production in human coronary arterial endothelial cells.	Kudo K	小児科
Epilepsy Res.	Elevation of tau protein levels in the cerebrospinal fluid of children with West syndrome.	Inoue H	小児科
Clin. Exp. Immunol	Intravenous immunoglobulin does not increase Fc γ RIIB expression levels on monocytes in children with immune thrombocytopenia.	Shimomura M	小児科
Brain Dev.	Serum soluble CD163 levels in patients with influenza-associated encephalopathy.	Hasegawa S	小児科
Allergol. Immunopathol. (Madr.)	Tau protein levels in children do not increase during severe asthma attack-induced hypoxic conditions.	Hasegawa S	小児科
Brain Dev.	Tau protein concentrations in cerebrospinal fluid of children with acute disseminated encephalomyelitis.	Oka M	小児科
Circulation Journal	Hypoxic preconditioning enhances angiogenic potential of bone marrow cells with aging-related functional impairment	Masayuki Kubo	第一外科
Gene	Optimizing high-resolution melting analysis for the detection of mutations of GPR30/GPER-1 in breast cancer	Masamune Aihara	第一外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PLoS One	Heat shock factor 1 contributes to ischemia-induced angiogenesis by regulating the mobilization and recruitment of bone marrow stem/progenitor cells	Masayuki Kubo	第一外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery	Left upper lobectomy with combined resection of the distal arch aorta after chemoradiotherapy for locally advanced lung cancer	Toshiki Tanaka	第一外科
World Journal of Surgery	Verification of Early Removal of the Chest Tube after Absorbable Mesh-based Pneumostasis Subsequent to Video-assisted Major Lung Resection for Cancer	Kazuhiro Ueda	第一外科
Surgical Endoscopy	Thoracoscopic coaxial cutting needle biopsy for clinically suspected lung cancer: technical details, diagnostic accuracy, and probable complications	Kazuhiro Ueda	第一外科
Annals of Vascular Diseases	Interface pressures derived from oversize compression stockings	Kotaro Suehiro	第一外科
Annals of Vascular Diseases	Elastic Multilayer bandages for chronic venous insufficiency: Features of our technique	Kotaro Suehiro	第一外科
PLoS One	The mobilization and recruitment of c-kit+ cells contribute to wound healing after surgery	Yoshihiro Takemoto	第一外科
Annals of Vascular Diseases	Putting a class I stocking over a class I stocking does not make a class II stocking	Kotaro Suehiro	第一外科
Histochemistry and Cell Biology	Fatty acid-binding protein 4 (FABP4) and FABP5 modulate cytokine production in the mouse thymic epithelial cells	Yasuhiro Adachi	第一外科
Journal of Cardiothoracic Surgery	Ratio of preoperative atrial natriuretic peptide to brain natriuretic peptide predicts the outcome of the maze procedure in mitral valve disease	Masafumi Sato	第一外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Thoracic and Cardiovascular Surgeon	Right middle lobe transposition after upper lobectomy: influence on postoperative pulmonary function	Kazuhiro Ueda	第一外科
センチネルリンパ節生検	Virtual sonography法	山本 滋	第二外科
癌と化学療法 Vol.39 No.12,1902-1904, 2012	薬物耐性後PS不良に外科的介入でQOLの改善した小腸GISTの1例	中須賀千代	第二外科
日本臨床 第70巻・第1 2号, 2189-2193	Oncoantigen由来ヘピトープペプチドを用いた がんワクチン療法とバイオマーカー	裕 彰一	第二外科
消化器疾患 最新の治療2013-2014 401-403頁	急性脾炎 b. 外科的治療	松井洋人	第二外科
消化器外科 4月臨時増 刊号 術式別術前・術後 管理 第35巻, 第5 号, 721-723, 2012	胆嚢摘出術、総胆管切石術	井上由佳	第二外科
日本臨床外科学会雑誌 第73巻, 6号, 153-159, 2012	結腸癌術後に劇症型Clostridium difficile腸炎と難 治性感染症を伴った1例	松隈 聰	第二外科
コンセンサス癌治療 第1 1巻 第3号, 125-129, 2012	NETの診断と治療	上野富雄	第二外科
日本AEM学会誌 Vol.20 No.3, 589-593, 2012	ゲノム情報に基づく大腸癌化学療法	恒富亮一	第二外科
Surgical Infections Vol13, No4, 1-9, 2012	Length of Stay and Cost for Surgical Site Infection after Abdominal and Cardiac Surgery in Japanese Hospitals: Multi-Center Surveillance	岡 正朗	第二外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gene Vol.501 Issue2, 118-126, 2012	Optimizing high-resolution melting analysis for the detection of mutations of GPR30/GPER-1 in breast cancer	山本 滋	第二外科
Oncol Rep. 2012 Aug;28(2):728-34.	Overexpression of the RD RNA binding protein in hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	飯田通久	第二外科
World J Gastrointest Oncol 2012 July 15; 4(7): 170-175	Is there diversity among UGT1A1 polymorphism in Japan?	畠 彰一	第二外科
Oncol Rep. 2012 Nov;28(5):1845-50.	Proteomic differential display identifies upregulated vinculin as a possible biomarker of pancreatic cancer.	上野富雄	第二外科
Anticancer Res. 2012 Aug;32(8):3219-22.	Glyoxalase I (GLO1) is up-regulated in pancreatic cancerous tissues compared with related non-cancerous tissues.	上野富雄	第二外科
BMC Res Notes. 2012 Jul 25;5:376.	Luminal A and luminal B (HER2 negative) subtypes of breast cancer consist of a mixture of tumors with different genotype.	山本 滋	第二外科
Anticancer Res. 2012 Dec;32(12):5363-9.	Suppressive Effects of Cyclophosphamide and Gemcitabine on Regulatory T-Cell Induction In Vitro.	Kan S.	第二外科
Surg Oncol	Functional neuro-vascularized muscle transfer for oncological reconstruction of extremity sarcoma.	Muramatsu K	整形外科
Acta Orthop Belg.	Latedevelopment of malignant fibrous histiocytoma at the site of a giant cell tumour 38 years after initial surgery.	Muramatsu K	整形外科
Acta Neurochir (Wien).	Unusual peroneal nerve palsy caused by intraneuronal ganglion cyst: pathological mechanism and appropriate treatment.	Muramatsu K	整形外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Plast Reconstr Aesthet Surg	Immunomodulatory effects of pre-irradiated extremity allograft in the rodent model.	Muramatsu K	整形外科
Surg Oncol.	Stimulation of neo-angiogenesis by combined use of irradiated and vascularized living bone graft for oncological reconstruction.	Muramatsu K	整形外科
Acta Orthop Belg.	Severe ulnar nerve palsy caused by synovial chondromatosis arising from the pisotriquetral joint	Muramatsu K	整形外科
脊髄機能診断	電気生理検査による近位型頸椎症性筋萎縮症の治療方針の再検討	今城靖明	整形外科
臨床神経生理学	片側前根単独障害による近位型頸椎症性筋萎縮症の頸椎手術治療成績予測－電気生理学検査を用いて	今城靖明	整形外科
中部日本整形災害外科学会雑誌	電気生理学的手法を用いた術後C5麻痺	今城靖明	整形外科
Spine	Prediction of surgical outcome for proximal-type cervical spondylotic amyotrophy	Yasuaki Imajo	整形外科
整形・災害外科	三次元脊髄有限要素法モデルによる脊髄の力学解析	西田 周泰	整形外科
J Spinal Cord Med	Biomechanical analysis of cervical spondylotic myelopathy: The influence of dynamic factors and morphometry of spinal cord	Nishida N	整形外科
骨折	鎖骨遠位端骨折に対する新しいLocking Plateの治療成績	西田 周泰	整形外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本人工関節学会誌	骨質不良例に対する楔状テーパー型ステムの短期成績	関 万成	整形外科
整形外科と災害外科	関節リウマチに対するインフリキシマブによるBio-free remissionの検討	今釜 純	整形外科
Orthopedics	Rotational acetabular osteotomy for habitual hip dislocation with posterior acetabular wall deficiency inpatients with Down syndrome	Takashi Imagama	整形外科
J Clin Biochem Nutr	Regulation of nitric oxide generation by up-regulated arginase I in rat spinal cord injury	Takashi Imagama	整形外科
Hip Joint	Mallory-Headシステムを用いた人工股関節全置換術の固定様式と術後成績	徳重厚典	整形外科
整形外科と災害外科	弛みの大腿骨セメントレスシステムの抜去を行った症例についての検討	徳重厚典	整形外科
臨床スポーツ医学	卓球における肩・肘・手関節障害	小笠博義	整形外科
Journal of clinical Rehabilitation	スポーツ障害・外傷とリハビリテーション 卓球	小笠博義	整形外科
Exp. Dermatol(2012)	Reduced size of sebaceous gland and altered sebum lipid composition in mice lacking fatty acid binding protein 5 gene	Sugawara T	皮膚科
J. Dermatol. (2012)	Subepidermal calcified nodule of the knee with transepidermal elimination of calcium	Nakamura Y	皮膚科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta. Derm. Venereol.(2013)	Drug-induced hypersensitivity syndrome induced by clindamycin	Nakamura Y	皮膚科
日本美容皮膚科学会雑誌(2012)	美容皮膚科診療に関する実態調査—日本美容皮膚科学会および日本臨床皮膚科医会の会員1132例におけるアンケート調査—	古川福実	皮膚科
内科(2012)	ジャノッティ・クロスティ症候群	山口道也	皮膚科
西日本皮膚(2012)	医療訴訟の病理学	武藤正彦	皮膚科
日皮会誌(2012)	新しい治療への期待—顆粒球吸着療法—	根本圭	皮膚科
形成外科(2013)	内視鏡を用いて鼠径および骨盤内リンパ節郭清術を施行した2例	一宮誠	皮膚科
International Journal of Urology	Pathophysiology of varicocele in male infertility in the era of assisted reproductive technology.	Shiraishi Koji	泌尿器科
BJU International	Association of RASSF1A genotype and haplotype with the progression of clear cell renal cell carcinoma in Japanese patients	Kawai Yoshihisa	泌尿器科
Transplantation Immunology	Splenectomy protects the kidneys against ischemic reperfusion injury in the rat	Hiroyoshi Toshiya	泌尿器科
Cancer Genetics	DNA copy number aberrations associated with lymphovascular invasion in upper urinary tract urothelial carcinoma	Misumi Taku	泌尿器科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Urology	Could basic research shed light on false positivity in photodynamic diagnosis?	Matsuyama Hideyasu	泌尿器科
Journal of Andrology	Comparison of the Results and Complications of Retroperitoneal, Microsurgical Subinguinal and High Inguinal Approaches in the Treatment of Varicocele	Shiraishi Koji	泌尿器科
Journal of Sexual Medicine	The Prevalence of Peyronie's Disease in Japan: A Study in Men Undergoing Maintenance Hemodialysis and Routine Health Checks	Shiraishi Koji	泌尿器科
LUTS	Nocturia potentially influences maintenance of sexual function in elderly men with benign prostatic hyperplasia	Ishizuka Osamu	泌尿器科
Human Reproduction	Human chorionic gonadotrophin treatment prior to microdissection testicular sperm extraction in non-obstructive azoospermia	Shiraishi Koji	泌尿器科
Journal of Andrology	Local expression of epidermal growth factor-like growth factors in human testis and its role in spermatogenesis	Shiraishi Koji	泌尿器科
Journal of Andrology	Comparison of the results and complications of retroperitoneal, microsurgical subinguinal, and high inguinal approaches in the treatment of varicoceles	Shiraishi Koji	泌尿器科
あたらしい眼科	写真セミナー「水疱性角膜症の上皮下線維性組織形成」	森重 直行	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Abnormalities of Stromal Structure in the Bullous Keratopathy Cornea Identified by Second Harmonic Generation Imaging Microscopy.	Morishige N	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Simultaneous analysis of multiple cytokines in the vitreous of patients with sarcoid uveitis.	Nagata K	眼科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Inhibition by medroxyprogesterone acetate of interleukin-1 β -induced collagen degradation by corneal fibroblasts.	Zhou H	眼科
J Cell Sci.	Chronic photo-oxidative stress and subsequent MCP-1 activation as causative factors for age-related macular degeneration.	Suzuki M	眼科
Exp Eye Res.	Identification of common secreted factors in human corneal fibroblasts exposed to LPS, poly(I:C), or zymosan.	Kimura K	眼科
Cornea	Open clinical study of eyedrops containing the fibronectin-derived peptide PHSRN for treatment of persistent corneal epithelial defects.	Yamada N	眼科
あたらしい眼科	序説 ステロイド薬抵抗性ぶどう膜炎の見極め	園田 康平	眼科
臨床眼科 増刊号	水疱性角膜症の上皮下混濁	森重 直行	眼科
臨床眼科 増刊号	共焦点顕微鏡	森重 直行	眼科
日本眼科学会雑誌	北部九州における内因性ぶどう膜炎の統計-1996年～2003年～2008年の比較	疋田 伸一	眼科
あたらしい眼科	ステロイド薬抵抗性ぶどう膜炎の見極め	園田 康平	眼科
眼科手術	眼内増殖性変化を伴う真菌性転移性眼内炎	園田 康平	眼科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
眼科手術	冒頭言	園田 康平	眼科
The Official International Journal of the Japanese Ophthalmological Society	Acute retinal necrosis:factors associated with anatomic and visual outcomes	Chiharu Iwahashi-Shima	眼科
臨床眼科	局所炎症制御による加齢黄斑変性治療	園田 康平	眼科
あたらしい眼科	Immune Privilege of the Eye	園田 康平	眼科
The Bulletin of the Yamaguchi Medical School	Topical Application of Substance P Facilitates Vestibular Functional Recovery Induced by AMPA in the Guinea Pig.	Hideki Toyota	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx	Geranylgeranylacetone suppresses noise-induced expression of proinflammatory cytokines in the cochlea.	Tetsuya Nakamoto	耳鼻咽喉科
Neuroscience Letters	A novel treatment for vestibular disorder with FGLM-NH2 plus SSSR.	Hideki Toyota	耳鼻咽喉科
Japan J Radiol, 2012;30(2):154-61	High-resolution computed tomography findings of influenza virus pneumonia: a comparative study between seasonal and novel (H1N1) influenza virus pneumonia	Tanaka N, Emoto T, Suda H, Kunihiro Y, Matsunaga N, Hasegawa S, and Ichiyama T	放射線科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 2012; 60(6): 363-6.	Left upper lobectomy with combined resection of distal arch aorta after chemoradiotherapy for locally advanced lung cancer	Tanaka T, Ueda K, Hayashi M, Mikamo A, Tanaka N, Hamano K	放射線科
Evidence-Based Neuroimaging Diagnosis and Treatment. Springer 2013, Medina L, Santiago, Sanelli Pina, Larvik Jeffrey (Eds)	Cervical Lymph Node Metastasis in Head and Neck Cancer(Part V-Head and Neck: Chapter 40)	Matakazu Furukawa, Yoshimi Anzai	放射線科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Head and Neck 2012 Aug. (E-pub, ahead of print)	Dynamic contrast-enhanced MR perfusion imaging of head and neck tumors at 3 Tesla	Matakazu Furukawa, Upendra Parvathaneni, Kineath Maravilla, Todd Richards, Yoshimi Anzai	放射線科
Plastic and Reconstructive Surgery 2013; 131(3):526-35	Evaluation of the facila artery on computed tomographic angiography using 64-slice multidetector computed tomography: Implications for facial reconstruction in plastic surgery	Matakazu Furukawa, David W. Matthes, Yoshimi Anzai	放射線科
Nucl Med Commun. 2012 Apr;33(4):371-8	Intrabullos ventilation in pulmonary emphysema: assessment with dynamic xenon-133 gas SPECT	Suga K, Iwanaga H, Tokuda O, Okada M, Matsunaga N.	放射線科
JPEN J Parenter Enteral Nutr. 2013 Jan;37(1):117-22	Percutaneous gastrostomy tube placement using a balloon catheter in patients with head and neck cancer	Fujita T, Tanabe M, Kobayashi T, Washida Y, Kato M, Iida E, Shimizu K, Matsunaga N.	放射線科
Jpn J Radiol. 2012 Nov;30(9):713-20	MR imaging of meniscal tears: comparison of intermediate-weighted FRFSE imaging with intermediate-weighted FSE imaging	Tokuda O, Harada Y, Ueda T, Iida E, Shiraishi G, Motomura T, Fukuda K, Matsunaga N.	放射線科
Hepatogastroenterology. 2013 Jun 3;60(124):938-42	Image-guided Percutaneous Gastrostomy using Modified Large Balloon as Access Target	Fujita T, Tanabe M, Shimizu K, Iida E, Matsunaga N	放射線科
Jpn J Radiol. 2012; 30(3): 206-17. April	Long term follow-up for small pure ground-glass nodules: implications of determining an optimum follow-up period and high-resolution CT findings to predict the growth of nodules.	Takahashi S, Tanaka N, Okimoto T, Tanaka T, Ueda K, Matsumoto T, Ashizawa K, Kunihiro Y, Kido S, Matsunaga N	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Interfractional dose variations in intensity-modulated radiotherapy with Breath-hold for pancreatic cancer.	瀧谷 景子	放射線治療科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Dose-volume metrics associated with symptomatic radiation pneumonitis after stereotactic body radiation therapy for lung cancer.	瀧谷 景子	放射線治療科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Analysis of dosimetric parameters associated with acute gastrointestinal toxicity and upper gastrointestinal bleeding in locally advanced pancreatic cancer patients treated with gemcitabine-based concurrent chemoradiotherapy.	瀧谷 景子	放射線治療科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Medical Physics	Interfractional dose variations in the stomach and the bowels during breath-hold intensity-modulated radiotherapy for pancreatic cancer: implications for a dose-escalation strategy.	濵谷 景子	放射線治療科
J Radiat Res	Differences in the dose-volume metrics with heterogeneity correction status and its influence on local control in stereotactic body radiation therapy for lung cancer.	濱谷 景子	放射線治療科
Endocrine Journal 60:1-13	Melatonin as a free radical scavenger in the ovarian follicle.	Tamura H	産科婦人科
Endocrinology 153:5612-5621	Induction of IGFBP-1 expression by cAMP is associated with histone acetylation status of the promoter region in human endometrial stromal cells.	Tamura I	産科婦人科
Biology of Reproduction 87(3):55:1-7	Involvement of bone marrow-derived vascular progenitor cells in neovascularization during formation of the corpus luteum in mice.	Kizuka F	産科婦人科
Cancer Letters 323:69-76	Decreased carbonyl reductase 1 expression promotes malignant behaviours by induction of epithelial mesenchymal transition and its clinical significance.	Murakami A	産科婦人科
Journal of Ovarian Research 5:59:405-410	The role of melatonin as an antioxidant in the follicle.	Tamura H	産科婦人科
J Anesth 26:585-588, 2012	Neuroanesthesia: from bench to bed	Mishiya Matsumoto	麻酔科蘇生科
Cerebrovasc Dis Extra. 2013 Feb 13;3(1):14-25. doi: 10.1159/000346113. Print 2013 Jan.	Initial 'TTP Map-Defect' of Computed Tomography Perfusion as a Predictor of Hemorrhagic Transformation of Acute Ischemic Stroke.	Shinoyama M	脳神経外科
Neuroepidemiology. 2013 Mar 20;41(1):7-12. [Epub ahead of print]	Seasonal Variation in the Incidence of Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage Associated with Age and Gender: 20-Year Results from the Yamaguchi Cerebral Aneurysm Registry.	Ishihara H	脳神経外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Tumor Pathol. 2013 Jan 11. [Epub ahead of print]	Yolk sac tumor of the bilateral basal ganglia in a patient with Down syndrome.	Sugimoto K	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2012;52(12):906-9.	External carotid artery stenting and superficial temporal artery to middle cerebral artery anastomosis for internal carotid artery occlusion with external carotid artery severe stenosis: case report.	Oku T	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2012;52(12):899-902.	Progression of stenosis into occlusion of the distal posterior cerebral artery supplying an occipital arteriovenous malformation manifesting as multiple ischemic attacks: case report.	Goto H	脳神経外科
Brain Res. 2013 Feb 25;1497:53-60. doi: 10.1016/j.brainres.2012.11.041. Epub 2012 Dec 23.	Neuroprotective effects of focal brain cooling on photochemically-induced cerebral infarction in rats: analysis from a neurophysiological perspective.	He Y	脳神経外科
Surg Neurol Int. 2012;3:143. doi: 10.4103/2152-7806.103886. Epub 2012 Nov 27.	Age limit for surgical treatment of poor-grade patients with subarachnoid hemorrhage: A project of the Chugoku-Shikoku division of the Japan neurosurgical society.	Shirao S	脳神経外科
J Vasc Surg. 2013 Jan;57(1):125-30. doi: 10.1016/j.jvs.2012.07.043. Epub 2012 Nov 8.	Cognitive outcome differences on the side of carotid artery stenting.	Ishihara H	脳神経外科
Clin Neurol Neurosurg. 2012 Oct 26. doi:pii: S0303-8467(12)00516-1. 10.1016/j.clineuro.2012.10.001. [Epub ahead of print]	Comparison of lumbar drainage and external ventricular drainage for clearance of subarachnoid clots after Guglielmi detachable coil embolization for aneurysmal subarachnoid hemorrhage.	Maeda Y	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2012;52(10):761-4.	Fulminant tuberculous meningitis--autopsy case report.	Shinoyama M	脳神経外科
J Stroke Cerebrovasc Dis. 2012 Oct 16. doi:pii: S1052-3057(12)00315-1. 10.1016/j.jstrokecerebrovas dis.2012.09.006. [Epub ahead of print]	Fragmental or Massive Embolization in Cardiogenic Stroke Caused by Nonvalvular Atrial Fibrillation.	Sadahiro H	脳神経外科
World Neurosurg. 2012 Sep 29. doi:pii: S1878-8750(12)01085-6. 10.1016/j.wneu.2012.09.020. [Epub ahead of print]	A Prospective, Multicenter, Randomized Study of the Efficacy of Eicosapentaenoic Acid for Cerebral Vasospasm: The EVAS Study.	Yoneda H	脳神経外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
No Shinkei Geka. 2012 Sep;40(9):799-804. Japanese.	[Insular psammomatous meningioma presenting intractable complex partial seizures].	Imoto H	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien). 2012 Oct;154(10):1945-6. doi: 10.1007/s00701-012-1477-z. Epub 2012 Aug 23. No abstract available.	Sphenoid ridge meningioma with increased intracranial pressure caused by venous congestion.	Inamura A	脳神経外科
J Cereb Blood Flow Metab. 2012 Sep;32(9):1757-64. doi: 10.1038/jcbfm.2012.67. Epub 2012 May 23.	Reproducibility of cerebral blood flow assessment using a quantitative SPECT reconstruction program and split-dose ^{123}I -iodoamphetamine in institutions with different colimator-camera s and collimators.	Yoneda H	脳神経外科
Epilepsia. 2012 Mar;53(3):485-93. doi: 10.1111/j.1528-1167.2011.03388.x. Epub 2012 Jan 31.	Cooling of the epileptic focus suppresses seizures with minimal influence on neurologic functions.	Fujii M	脳神経外科
Clin Neurophysiol. 2012 Jun;123(6):1248-54. doi: 10.1016/j.clinph.2011.09.025. Epub 2011 Nov 21.	Intra-operative monitoring of lower extremity motor-evoked potentials by direct cortical stimulation.	Maruta Y	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル21(3) : 243, 2012	脳神経外科領域における症候性局在関連てんかんの薬物療法	藤井正美	脳神経外科
脳神経外科速報22(7) : 822-826, 2012	出血発症の成人頭蓋内pial AVFの1例	吉野弘子	脳神経外科
臨床神経生理学40(6) : 519-526, 2012	光トポグラフィー装置を用いた無侵襲言語優位半球の同定法について～Wada testとの比較～	丸田雄一	脳神経外科
日本口腔外科学会	定位照射併用放射線治療を行った臼後三角部頬粘膜癌の1例	宮本寿太郎他	歯科口腔外科
日本口腔外科学会	口腔癌化学療法後に抗利尿ホルモン不適合分泌症候群と橋中心髓鞘融解を併発した1例	和田範子、真野隆充他	歯科口腔外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口腔外科学会	関節頭付き下顎再建用プレートで再建した両側骨性顎関節強直症の1例	真野隆充他	歯科口腔外科
Sleep Breath	Orthognathic surgery in an acromegalic patient with obstructive sleep apnea syndrome	中野旬之、三島克章他	歯科口腔外科
Oral Maxillofacial Surgery	Efficacy of the Silensor for treating obstructive sleep apnea syndrome.	中野旬之、三島克章他	歯科口腔外科
International Journal of Otolaryngology	Nonlinear Dynamic Analysis of Vowels in Cleft Palate Children with or without Hypernasality	三島克章他	歯科口腔外科
Journal of Cranio-Maxillo Facial Surgery	Voice characteristics before versus after mandibular setback surgery in patients with mandibular prognathism using nonlinear dynamics and conventional acoustic analyses.	三島克章他	歯科口腔外科
日本口腔外科学会	顎矯正手術中に三叉-迷走神経反射により徐脈をきたしたと思われた1例	宮本寿太郎他	歯科口腔外科
International Journal of Oncology	The enhancement of tumor radioresponse by combined treatment with cepharanthine is accompanied by the inhibition of DNA damage repair and the induction of apoptosis in oral squamous cell carcinoma.	原田豊子、原田耕志他	歯科口腔外科
J Am Soc Echocardiogr	Relationship Between Deformation and Volume in Left Atrium in Patients With Paroxysmal Atrial Fibrillation Using Three-dimensional Speckle Tracking Echocardiography	Toru Ariyoshi Yasuaki Wada	検査部
J Am Soc Echocardiogr	Usefulness of Low Intensity Exercise Stress Echocardiography for Predicting Exercise Capacity in Patients With Atrial Fibrillation	Yasuaki Wada Toru Ariyoshi	検査部
European Heart Journal	Usefulness of Exercise Stress Echocardiography for Estimation of Exercise Capacity in Patients with Atrial Fibrillation	Yasuaki Wada Toru Ariyoshi	検査部

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
超音波医学	繰り返す輸血による心ヘマクロマトーシスが疑われたピルビン酸キナーゼ欠乏症の一例	和田靖明	検査部
Circulation	Usefulness of Low Intensity Exercise Stress Echocardiography Using Two-dimensional Speckle Tracking Echocardiography for Predicting Exercise Tolerance in Patients with Atrial Fibrillation	Yasuaki Wada Toru Ariyoshi	検査部
J Cardiol	一過性心房細動患者における左房ストレインと左房Booster機能の関係 :3次元スペックルトラッキング法による検討	有吉亨 和田靖明	検査部
J Gastroenterol	Bortezomib induces tumor-specific cell death and growth inhibition in hepatocellular carcinoma and improves liver fibrosis.	Saeki I	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 JJCLA	個別薬物療法:遺伝子検査室の取り組み	岡山直子	検査部
日本臨床微生物学雑誌	血液培養から検出されたVancomycin低感受性 <i>Staphylococcus capitis</i> subsp. <i>Ureolyticus</i> の一症例	岩本孝子、角由佳里、新内美加、松尾和裕、神崎多紀子、甘崎正路、国近尚美、大瀬典子、門屋亮、寺山幸恵、敷地恭子、水野秀一、甲斐久美子、山根一和、荒川宣親	検査部
BJU INTERNATIONAL	Association of RASSFiA genotype and haplotype with the progression of clear cell renal cell carcinoma in Japanese patients.	Yoshihisa Kawai, Shigeru Sakano, Naoko <u>Okayama</u> , Yutaka Suehiro, Hideyasu Matsuyama and Yuji Hinoda	検査部
Molecular Carcinogenesis	Possible Involvement of Wnt11 in Colorectal Cancer Progression.	Mitsuaki Nishioka, Koji Ueno, Shoichi Hazama, Toshiyuki Okada, Kouhei Sakai, Yutaka Suehiro, Naoko <u>Okayama</u> , Hiroshi Hirata, Masaaki Oka, Kohzoh Imai, Rajvir Dahiya, and Yuji Hinoda	検査部
World J Gastrointest Oncol.	Is there diversity among UGT1A1 polymorphism in Japan?	Kobayashi M, Hazama S, Takahashi K, Oba K, <u>Okayama N</u> , Nishioka M, Hinoda Y, Oka M, Okamoto K, Maeda H, Nakamura D, Sakamoto J, Mishima H.	検査部
Tumour Biol.	Germline copy number variations associated with breast cancer susceptibility in a Japanese population.	Suehiro Y, Okada T, Shikamoto N, Zhan Y, Sakai K, <u>Okayama N</u> , Nishioka M, Furuya T, Oga A, Kawauchi S, Maeda N, Tamesa M, Nagashima Y, Yamamoto S, Oka M, Hinoda Y, Sasaki K.	検査部

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Hematol	Jak2 46/1 haplotype is associated with Jak2 V617F-positive myeloproliferative neoplasms in Japanese patients.	Mayumi Tanaka, Toshiaki Yujiri, Shunsuke Ito, Naoko Okayama, Toru Takahashi, Kenji Shinohara, Yoichi Azuno, Ryouhei Nawata, Yuji Hinoda, Yukio tanizawa	検査部
Biomedical Reports	TWIST1 hypermethylation is observed in pancreatic cancer.	Senyo M, Suehiro Y, Kaino S, Sakaida S.	遺伝診療部、検査 医学、検査部
J Med Virol	Role of DNA methylation in the development of Epstein-Barr virus-associated gastric carcinoma.	Saito M, Nishikawa J, Okada T, Morishige A, Sakai K, Nakamura M, Kiyotoki S, Hamabe K, Okamoto T, Oga A, Sasaki K, Suehiro Y, Hinoda Y, Sakaida I.	遺伝診療部、検査 医学、検査部
Tumour Biol	Germline copy number variations associated with breast cancer susceptibility in a Japanese population.	Suehiro Y, Okada T, Shikamoto N, Zhan Y, Sakai K, Okayama N, Nishioka M, Furuya T, Oga A, Kawauchi S, Maeda N, Tamesa M, Nagashima Y, Yamamoto S, Oka M, Hinoda Y, Sasaki K.	遺伝診療部、検査 医学、検査部
BJU Int	Association of rassf1a genotype and haplotype with the progression of clear cell renal cell carcinoma in Japanese patients.	Kawai Y, Sakano S, Okayama N, Suehiro Y, Matsuyama H, Hinoda Y.	遺伝診療部、検査 医学、検査部
臨床病理	がんの分子標的治療と遺伝子検査 大腸癌の genetic および epigenetic 変化および個別化医療のための遺伝子解析	末廣 寛, 日野田 裕治	遺伝診療部、検査 医学、検査部
Head and Neck	Dynamic contrast-enhanced MR perfusion imaging of head and neck tumor at 3 Tesla	Matakazu Furukawa	放射線部
Plastic and Reconstructive surgery	Evaluation of the facial artery on computed tomographic angiography using 64-slice multidetector computed tomography: Implications for facial reconstruction in plastic surgery	Matakazu Furukawa	放射線部
J Neurotrauma	Effects of Hypothermia on Cerebral Autoregulatory Vascular Responses in Two Rodent Models of Traumatic Brain Injury	Fujita M, Enoch P. Wei, John T. Povlishock	先進救急医療センタ一
Resuscitation	Prediction of the neurological outcome with intrathecal high mobility group box 1 and S100B in cardiac arrest victims: A pilot study	Oda Y, Tsuruta R, Fujita M, Kaneda K, Kawamura Y, Izumi T, Kasaoka S, Maruyama I, Maekawa T	先進救急医療センタ一

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurotrauma	Intensity- and interval-specific repetitive traumatic brain injury can evoke both axonal and microvascular damage.	Fujita M, Enoch P, Wei, John T. Povlishock	先進救急医療センター
Bull Yamaguchi Med Sch	In Vivo Real-time Monitoring and Evaluation for Super-oxide Anion Radical Generation with an Electrochemical Sensor	Fujita M, Maekawa T, Todani M, Tsuruta R	先進救急医療センター
J Atheroscler Thromb.	Rationale, Design and Baseline Characteristics of a Study to Evaluate Effects of Candesartan on Cardiovascular Events after Drug-eluting Stent Implantation in Patients with Ischemic Heart Disease.	Sakamoto T, Matsui K	総合診療部
J Am Heart Assoc.	Microvascular coronary artery spasm presents distinctive clinical features with endothelial dysfunction as nonobstructive coronary artery disease.	Ohba K, Matsui K	総合診療部
Kidney Int.	An angiotensin II receptor blocker-calcium channel blocker combination prevents cardiovascular events in elderly high-risk hypertensive patients with chronic kidney disease better than high-dose angiotensin II receptor blockade alone.	Kim-Mitsuyama S, Matsui K	総合診療部
J Am Coll Cardiol.	Incremental prognostic significance of peripheral endothelial dysfunction in patients with heart failure with normal left ventricular ejection fraction.	Akiyama E, Matsui K	総合診療部
Am J Med.	Angiotensin II receptor blocker-based therapy in Japanese elderly, high-risk, hypertensive patients.	Ogawa H, Matsui K	総合診療部
医療情報学	疾患マネージメントシート構成要素に対応した汎用化ツールの開発	須田 博, 石田 博他	医療情報部
医療情報学	臨床現場における診療情報を活用した検査の有用性評価と課題克服にむけた試み	石田 博	医療情報部
医療情報学	C型慢性肝炎ジエノタイプ1b高ウイルス量患者へのPegIFN/RBV併用療法における48週標準治療と72週延長療法との費用対効果比較	石田 博	医療情報部

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Hospital Infection	Microbial contamination of a disinfectant-soaked unwoven cleaning cloth	Shigeharu Oie	薬剤部
Journal of Hospital Administration	Contamination of wheelchairs by <i>Staphylococcus aureus</i>	Harumasa Hakuno	薬剤部
Biological Pharmaceutical Bulletin	Efficacy of Disinfectants against Naturally Occurring and Artificially Cultivated Bacteria	Masanobu Suwa	薬剤部
医療薬学	Necessity of the Outside Filter in Preparation for an Infuser Pump Using Glass Ampoules	T. Kurokata, <u>S.</u> Oie	薬剤部
日本環境感染誌	<i>Clostridium difficile</i> の芽胞に対する次亜塩素酸ナトリウム清拭の消毒効果	尾家 重治	薬剤部
日本医療マネジメント学会誌	術前の手指消毒におけるウォーターレス法の消毒効果及びコストの評価	土家 大輔	薬剤部

小計 6

合計 276

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 田口 敏彦
管理担当者氏名	総務課長 三澤 和男 医事課長 水津 賢治

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録			
病院日誌		総務課	
処方せん		薬剤部	
手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療録センター 医療情報部	紙媒体のカルテは入院、外来別に1患者1ファイル方式として、保存整理している。 2009年9月より順次電子カルテシステムに移行し、移行後は電子媒体で保管している。
各科診療日誌、エックス線写真		各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術研究部研究推進課 小串地区研究・運営支援室	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第に一掲条げのる十体一制第の一確項保各の号状況び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全推進室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

			分類方法
		保管場所	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御室
第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	規則	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室
	規則	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室
	規則	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御室
第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	規則	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	規則	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	規則	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	規則	医薬品の安全使用のために必要な情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
	規則	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME 機器管理センター
	規則	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME 機器管理センター
第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	規則	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME 機器管理センター
	規則	医療機器の安全使用のために必要な情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	ME 機器管理センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 田口 敏彦
閲覧担当者氏名	総務課長 三澤 和男 医事課長 水津 賢治
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館2階 閲覧室 外来診療棟1階 患者相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	73.7 %	算 定 期 間	平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			10,075人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			7,024人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,333人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			17,992人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・指針の主な内容： (1) 本院の医療事故防止及び医療の安全管理に関する総合的な体制整備等について (2) 医療事故防止のための安全管理及び医療事故発生時の対応に関すること (3) 医療安全・事故等の防止に関する事項について、病院全体で取り組みための委員会及び推進室の設置並びに業務内容・規程整備等について (4) 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催することについて	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
・活動の主な内容： (1) 医療事故の未然防止のための具体的方策・実施計画の策定 (2) リスクマニュアル、インフォームド・コンセントの整備・監修、リスクマネジャーの統括 (3) アクシデント・インシデント報告の分析、フィードバック (4) 医療事故防止のため、職員に対する指導及び教育・研修の企画・立案 (5) 医療安全推進室から提言された医療安全に関する事項の検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2回
・研修の主な内容：H25.7.26 学外講師「安全対策と落とし穴」 H25.8.23 学外講師「医療安全とコミュニケーション」を実施。 上記以外にVTR講習会も数回行い、曜日、時間帯を変え 医療従事者の年2回受講を促している。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全推進室を中心に新規の様式作成や、運用上のマニュアル、フロー図等の改善策の策定を行い、状況に応じて、各部署の意見等を取り入れ実行可能なものとしている。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (3名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (4名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (1) 名 ・ 活動の主な内容： ・ 医療事故防止に関する事。 ・ 重大な又は、部門を横断する医療事故発生後の対応・調整。 ・ 医療安全に関する教育・啓発等に関する事。 ・ 医療安全の全国ネットワークに関する事。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無		
・指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 医療関連感染対策のための委員会の組織に関する基本的事項 (3) 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針			
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回		
・活動の主な内容： (1) 感染の予防に関すること (2) 予防対策実施の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の検診とその実施に関すること (5) 検診結果に基づく判定及び事後指導に関すること (6) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (7) 山口大学医学部附属病院感染制御室の管理及び運営に関すること			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 2 回		
・研修の主な内容： (1) 医療関連感染防止のための基本的知識の習得 (2) 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る (3) 抗菌薬の適正使用に関連したこと (4) 職業感染対策について			
平成24年度については、以下の内容で全職員を対象として研修を実施した。			
研修日	テーマ	講師	ビデオ講習会
24. 04. 20	気をつけよう針刺し切創・感染対策の基本	院内講師	
24. 05. 30	ノロウイルス アウトブレイク報告	院内講師	25. 02. 21
24. 07. 18	細菌検査について	院内講師	
24. 09. 14	医療現場で考える耐性菌対策	院外講師	24. 10. 17 25. 03. 19
24. 11. 30	結核と感染対策	院外講師	24. 12. 04
25. 01. 08	消毒と滅菌	院内講師	
25. 02. 06	HIVスクリーニング検査と確認検査	院内講師	
25. 03. 16	当院におけるMRSAの現状について	院内講師	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況			
・病院における発生状況の報告等の整備	(有・無)		
・その他の改善の方策の主な内容：			
収集した各データや問題点をICT会にて検討している。 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案、協議をしている。			

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8回

・研修の主な内容：平成24年度については、以下の内容で研修を実施した。

研修日	対象者	研修内容	講師
24.04.03	コメディカル新採用者	薬剤部の機構と運営	薬剤部長 副薬剤部長
24.04.03	研修医	薬剤部の活用法 麻薬の取扱いについて 処方箋の取扱いについて	薬剤部長 副薬剤部長 副薬剤部長
24.04.23	看護師	薬剤の管理 一リスクマネジメントの観点からー	薬品管理主査
24.04.27	全職員	医療安全講習会 「麻薬管理～守ってほしい5つのルール～」	麻薬担当薬剤師
24.08.27	看護師	看護部継続教育—薬剤研修ステップ② 「麻薬管理～守ってほしい6つのルール～」	麻薬担当薬剤師
24.12.05	看護師	がん化学療法セミナー 「がん化学療法を「安全・安楽・確実」に！」	製剤主査
25.01.08	全職員	感染対策研修会「消毒と滅菌」	副薬剤部長
25.03.14	全職員	医療安全・感染対策合同研修会 「アナタの常識はワタシの常識ではない！！～報道例から学ぶ「医薬品使用時の安全管理」～」	薬剤部長

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・手順書の作成 (有・無)
・業務の主な内容：
(1) 医薬品の適正な採用 (2) 医薬品の適正な管理 (3) 処方せんの記載・投与指示と調剤 (4) 患者への適正な投与と服薬に関する指導（薬剤管理指導） (5) 医薬品の適正使用のための情報管理（安全性情報収集と提供） (6) 他の医療提供施設との連携
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況
・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
・その他の改善の方策の主な内容：
(1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。 (2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。 (3) 特に、発売1年以内の新薬については、副作用のモニタリングを行う。 (4) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。 (5) 薬剤部より月1回「DI EXPRESS」を発行している。 (6) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページ（院内限定）でお知らせする。 (7) リスクマネージャー会議などを通じて事故防止・対策を周知している。

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年19回 (4-9月、院外分含む)
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○新しい医療機器の導入時の研修 (シリンジポンプ、人工心肺および補助循環装置、血液浄化装置、製氷機、吸引器)○特定機能病院における定期研修 (人工呼吸器、人工心肺および補助循環装置、血液浄化装置、電気メス等)	
<p>各研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">・有効性・安全性に関する事項・使用方法に関する事項・保守点検に関する事項・不具合が発生した場合の対応・法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容：使用前点検、使用中点検、定期点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善の方策の主な内容： 「MEだより」の配布 「医療機器安全だより」(マーリングリスト)の配信 回収・改修情報の周知 等	